

集まらないならリモートで!! 学習の場の提供支援

(JA計根別管内女性農業者)

1 課題の背景 *****

JA計根別管内の女性農業者を対象にしたつくし学級は、H30年3月からR2年2月まで学習会や視察・現地検討会などを27回・延べ217名の出席者で開催してきた。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症により、集合学習が出来なくなった。これまで、多くの学習会に参加し学習意欲が高まり、今後、経営参画を意識している農業女性に学習機会を創出する必要があった。

今回、集合研修以外によるリモート会議用アプリケーションを用いての学習機会の提供を試みた。

2 活動の経過 *****

(1)リーダーとの打合せ

7月末まで集合研修を自粛する旨の回答情報を受け、つくし学級のリーダーと今年度の進め方について協議を実施。一番草の収穫が終わる7月中旬を目処にリモートで開催する計画を立てた。開催内容はパソコンとビデオカメラで撮り編集して、電波の関係で参加できない方や都合が悪い方にDVDで配布することとした。

表1 活動経過

時期	活 動 内 容
5月	つくし学級リモート開催に向けた打合せ
7月	アプリケーション活用に向けた事前学習
9月	担当講師との打合せとアプリ学習
12月	担当講師との打合せとアプリ学習

(2)テーマの設定

初回はリーダーと打合せ、以降は研修の最後に参加者から要望を伺い決定。第30回の「クミカンの仕訳について」は、普及から意図的に提案した(表2)。

(3)アプリケーションの事前学習

アプリケーションはリーダーが既に用いているものを採用し、活用方法はSNSを用いて接続方法から録画方法・パワーポイントの使い方などを学んだ。また、実践をとおして講師が話しやすい環境の整え方なども学んだ。

3 活動の成果 *****

表2 学習会の内容と実施方法

通算	時期	講 師	内 容	実施方法	参加者数
第28回	7月	普及	換気について	リモート・DVD	7名(内DVD4名)
第29回	10月	NOSAI	獣医さんに質問	リモート・DVD	7名(内DVD1名)
第30回	11月	普及	クミカンの仕訳について	リモート	5名
第31回	1月	JA 女性農業者	クミカンの見方について	リモート・DVD	9名(内DVD4名)
第32回	2月	指導農業士	女性の視点で経営に取り組んで	リモート	10名(内外部3名)
第33回	3月	普及	蹄病～エサとの関連～	リモート・集合 ・DVD	10名(内会議室3名 DVD2名外部1名)

つくし学級の開催回数は、コロナ禍においてこれまでの年11回以上の開催から年6回に半減

した。しかし、参加者はリモート開催やDVDの配布を行ったことで、これまでの平均参加人数8名が7.3名と概ね同じ参加者数が保てたことから、学習ニーズに応えられたと考える。

第31回は既にクミカン記帳に取り組んでいる女性農業者に講師になってもらい、第32回はJ A管内だけではなく、別海町の女性グループにも声をかけ、外部からの参加も受けた。

リモートで特筆すべき点は、数名の方が夫と共に視聴されていたことである。研修会は男性だけ、女性だけになりやすいが、リモートは家庭で気軽に夫婦で参加して情報を共有することができ、経営に生かすべく会話の一助となることを秘めていた。



写真1 換気について
～リーダー宅でバーンミーティング～



写真2 獣医さんに質問

シミュレーション			
項目	金額(円)	数量(個)	単価(円)
01 全費	46,000,000	-	741,619.00
02 雑費	5,700,000	-	5,700,000
03 賃料	1,000,000	5	1,000,000
04 燃料	5,000,000	10	5,000,000
05 土の改良費	1,000,000	100,000	10,000
06 肥料	800,000	-10	80,000
07 農具	77,942,000	-10	7,794,200
08 労働力	0	0	0
09 農具購入	1,000,000	5	1,704,100
10 燃料	79,000,000	5	68,15,500
11 農具購入	0	0	0
12 賃料	1,000,000	-100	0
13 燃料	5,000,000	-100	0
14 賃料	80,633,000	86,613,500	
15 燃料	2,000,000		
16 燃料	1,214,210		

仕訳記帳が終わったらライフプランとのシミュレーションをしてみよう(普及センター)

写真3 クミカンの仕訳について (一部抜粋)



釧路本所の協力で、ホストのPCより参加者を大きく映せたことで、参加者の反応を見ながら話していただけ、「話しやすい」と好評

4 今後の活動 *****

つくし学級は、コロナ禍が終息に向かうにつれ集合学習に移行すると思われる。

しかし、「短時間でも参加したい」「夫と共有したい」という女性農業者のニーズに応えられるよう、また、外部からの参加も受け入れ

意見交換を行うなど、リモート手法を取り入れた学習の場の提供支援を模索する。

クミカンって何？

詳しく言うよ...



写真4 クミカンの見方について (DVDより抜粋)



写真5 女性の視点で経営に取り組んで～釧路の指導農業士宅へ担当者が出向いて～

